

乳腺の医療連携は
専門医のいるクリニックに
限るべきではない

非専門医がよいところ

- 対象施設・医師が潤沢
→ニーズ(性格・地域など)に合わせやすい
- 他の疾患(合併症・・・高脂血症・骨粗鬆症・心療内科)に対応しやすい
→長期フォローではこれらが重要
既往症のかかりつけ医なら、ついでにやりやすい
- 合併症(浮腫・更年期など)は専門医だけでは対処できない→婦人科・理学療法士 他
→専門医にこだわっても仕方ない

専門医だけでは・・・

- 基幹病院の患者さんを受け入れ可能なの？
全国の患者さんの近くに専門医はいるのか？
患者のニーズ（場所・時間・サービス）に
合っているのか？
- 合併症や併存症も一緒に扱えるのか？

専門医じゃダメなところ

- 厳密には、技量は分からない
→あくまでも最低限の知識・技能レベル保障のみ
- “人となり”は分からない。
→専門医は“社会性”を保障するものではない